



「現 (うつつ)」 P100/2022年/パネル・油絵具・アクリル絵具



「彼の日」 F40/2020年/パネル・油絵具

“N.E.blood 21. は精神的に制作、発表活動を行う東北・北海道在住若手作家を紹介するシリーズ企画です。美術館とアーティストとの新しい関係を模索しつつ、作家同士のネットワーク形成を念頭に置き複数の作家の個展を開催しています。通算第83回目となる本展では、北海道札幌市在住の作家 小太刀理予 (こたち・りよ) を紹介します。

小太刀は1997年栃木県生まれ、2022年に東北芸術工科大学大学院芸術文化専攻絵画研究領域を修了。油彩、アクリル彩による平面作品を制作し、グループ展・公募展を中心に精力的に発表しています。

小太刀の絵画には、一見すると誰もが一度はどこかで目にしたことがあるような風景が描かれています。しかし、大方からすれば何気ない風景も、ある人にとっては思い入れの深い場所だったり、いつまでも記憶に残る景色、その人物の人間形成に深く関わる大事な景色だったりします。

まるで、風景を思い浮かべては消えゆく脳内映像を映し出したかのような小太刀の絵画は、見る者に自らの記憶の景色を想起させ、同時にそれを映し出す投影幕としての役目を果たしてくれます。作品を通じ記憶を手繰ることで思いよらぬ“あの時・あの場所”の思い出や感情などを呼び覚ます追憶の機会となるかもしれません。



「命のあとかた」 1602×3909mm/2020年/パネル・油絵具



「真昼の空音」 F12/2020年/パネル・アクリル絵具



「眩む」 F6/2021年/パネル・油絵具

- 小太刀理予 small P100
- 2017年 公募展「はたちのりんかく」入賞
 - 2020年 東北芸術工科大学卒業
公募展「第6回来展」日動画廊
グループ展「東北のいぶき perche」銀座スルガ台画廊
 - 2021年 グループ展「Beyond 2021- Covid-19を超えて。」GALLERY ART POINT
 - 2022年 東北芸術工科大学大学院修了
グループ展「ART POINT Selection II」GALLERY ART POINT
グループ展「CROSS OVER Vol.40 In France」Sway Gallery
 - 2023年 グループ展「AND LINKS Selection II」GALLERY AND LINKS 81



リアス・アーク美術館
ホームページQRコード

リアス・アーク美術館利用案内 ●常設展—①美術作品展 ②歴史民俗資料展=方舟日記—海と山を生きたるリアスなくらし— ③東日本大震災の記録と津波の災害史展【常設展観覧料=一般:700(600)円/大学・専門学生:600(500)円/高校生:500(400)円/小中学生:350(250)円 ※①内は20名以上の団体料金】 ●ワークショップ=土・日を中心に開催するアドリエ ●レストラン「キャピタス ベースの倉」=地元食材中心の創作料理をご提供。日替りランチ、シーフード系パスタ・カレーが人気です。

- 三陸自動車道【気仙沼中央 IC】から約5km(仙台市から約115 km/石巻市から約70 km/陸前高田市から約25 km)
- 東北自動車道【一関 IC】から約50 km ◆無料駐車場あり(普通車 37 台・大型5台)
- 東北新幹線【一関】—(大船渡線) —【気仙沼】/東北新幹線【仙台】—(気仙沼線) —【気仙沼】 ▶気仙沼駅からタクシー(約15分)をご利用ください。 ※タクシー(青河券)と「常設展観覧券引換券」のセットクーポン券が気仙沼駅観光案内所。(一社) 気仙沼市観光協会(電話:0226-22-4560)で販売中。※現在、気仙沼線【前谷地—気仙沼間、大船渡線【盛—気仙沼】間はBRT運行。



同時開催

N.E.blood 21

vol.82

田中望展

絵画/宮城県

<観覧料>